



議会だより

まいばら

目次

第2回定例会概要	2
まいばらこども議会を開催します	4
各常任委員会審査報告	5
一般質問 ここが知りたい・聞きたいQ & A	8
議会の動き・編集後記	18

第41号

平成27年7月25日発行

発行

滋賀県米原市議会

議会広報特別委員会

発行責任者 竹中 健一

こども議会出前講座<伊吹小学校>（7月2日）



平成27年第2回定例会概要

○平成27年第2回定例会は、5月29日から6月19日までの22日間の会期で開催しました。

本会議（第1日）開会

（議員報酬を1割引き下げる特例条例の廃止を可決）

- ・ 議員報酬の額の特例に関する条例を廃止する議案が議員発議により提出され、即日審議しました。質疑の後に討論が行われ、採決の結果、原案のとおり可決しました。

（市長提出の承認4件を即日審議）

- ・ 専決処分の承認を求める議案4件について、即日審議し、いずれも原案のとおり承認しました。

（議案の委員会付託）

- ・ 市長から提出の議案19件と議員から提出の意見書1件を審査のため各常任委員会へ付託しました。

各常任委員会

※各常任委員会の審査報告は、5ページから7ページをご覧ください。

本会議（第2日、第3日）一般質問

（10人の議員が21項目について質問）

- ・ 6月3日、4日の2日間にわたり、10人の議員が市政全般におよぶ21項目について質問しました。

※質問と答弁内容の要約は、8ページから17ページをご覧ください。

本会議（第4日）最終日

（委員会付託の議案19件を可決、意見書1件を否決）

- ・ 付託議案の審査経過と結果について、各常任委員会委員長から報告がありました。質疑・討論の後、採決の結果、議案19件を可決し、意見書1件を否決しました。

*賛否が分かれた案件の採決結果は、3ページをご覧ください。

議決結果一覧（5月29日議決分）

番 号	件 名	議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（米原市税条例等の一部を改正する条例）	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（米原市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度米原市一般会計補正予算（第2号））	承認

賛否が分かれた案件

番 号	件 名	討論件数	議決結果
発議第2号	米原市議会の議員報酬の額の特例に関する条例の廃止について 平成25年11月1日から平成28年10月31日までの期間、議員報酬の額を一律1割引き下げるとする特例条例を廃止するもの 議員報酬はこれまで慎重な議論が重ねられ、平成23年11月から1割引き下げてきた報酬額を、平成27年7月から現行の議員報酬等に関する条例の額に戻す	2件	原案可決



議決結果一覧（6月19日議決分）

番 号	件 名	付託委員会	議決結果
議案第50号	平成27年度米原市一般会計補正予算(第3号)について	3 常任	原案可決
議案第51号	平成27年度米原市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	健康福祉	原案可決
議案第52号	平成27年度米原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
議案第53号	平成27年度米原市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
議案第54号	平成27年度米原駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
議案第55号	平成27年度米原市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決
議案第56号	米原市こども療育センター条例を廃止する条例について	健康福祉	原案可決
議案第57号	米原市税条例の一部を改正する条例について	総務教育	原案可決
議案第58号	米原市伊吹健康プラザ愛らんど条例の一部を改正する条例について	健康福祉	原案可決
議案第59号	米原市地域包括ケアセンターいびき条例等の一部を改正する条例について	健康福祉	原案可決
議案第60号	米原市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	健康福祉	原案可決
議案第61号	米原市体育施設条例の一部を改正する条例について	総務教育	原案可決
議案第62号	市道の路線認定について	産業建設	原案可決
議案第63号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	総務教育	原案可決
議案第64号	財産の貸付けについて	健康福祉	原案可決
議案第66号	財産の取得について	健康福祉	原案可決
議案第67号	財産の取得について	健康福祉	原案可決
議案第68号	工事請負契約の変更について	健康福祉	原案可決

賛否が分かれた案件

番 号	件 名	付託委員会	討論件数	議決結果
議案第65号	財産の取得について 米原市地域包括医療福祉センターの家具を購入するため、財産の取得について、議会の議決を求めるもの	健康福祉	0 件	原案可決
意見書第1号	「平和安全法制」に関する関連法案の国会上程に反対する意見書案 5月14日に閣議決定された「平和安全法制整備法案」について、国会上程の撤回と日本国憲法第9条を守り生かすこと、また、昨年7月1日の集団的自衛権容認を柱とした「閣議決定」を撤回することを求めた意見書を提出するもの	総務教育	2 件	否 決

賛否一覧表

議決結果や議案に対する各議員の賛否は、市議会のウェブサイトで公表しています。
議会映像の録画配信や会議録とあわせてご覧ください。(http://www.city.maibara.lg.jp/)

会派名 議員名 番 号	採決 結果	会派・議員名 (50音順)																	
		政策研究会マイバラ						創政クラブ					清風クラブ			日本共産党 米原市議団			無会派
		6人						5人					3人			3人			無会派
		今中 力松	澤井 明美	中川 雅史	堀江 一三	山本 克巳	吉田周 一郎	音居 友三	北村喜代 隆	中川 松雄	松宮 信幸	的場 收治	北村喜代 信	滝本 善之	鏑田 明	太田 幸代	清水 隆徳	藤田 正雄	竹中 健一
発議第2号	原案可決 (多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	／
議案第65号	原案可決 (多数)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	×	×	×	／
意見書第1号	否 決 (少数)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×

【表示】賛成者は「○」とし、反対者は「×」としています。退席者は「－」、欠席者は「欠」としています。議長は採決に加わらないため、斜線「／」としています。法律により採決に加われない議案については「除」と表示しています。

議会報告会～市民との意見交換会～を開催しました

別冊の報告書《ダイジェスト版》をご覧ください

5月8日（金）、5月9日（土）の2日間、議会報告会を開催しました。

「27年度予算の概要について」、「米原市・道路網の整備について」、「市政へのご意見・ご要望」をテーマに皆様から貴重なご意見やご質問をいただきました。

主なご意見やご質問に対する回答を別冊の「報告書《ダイジェスト版》」にまとめましたので、ご覧ください。報告書の詳細は、8月中旬以降に市議会のウェブサイトや米原市役所情報コーナー等でお知らせします

議場コンサートが開催されました



7月25日（土）に議場でプロのハープ奏者による演奏会が開催されました。

議場に美しいハープの音色が響きわたり、ご来場の皆様に心地よく演奏を楽しんでいただきました。

議会の傍聴にもぜひお越しください。

演奏者 ふくしま せいこ 福島 青衣子さん

～ 曲目 ～

◎カノン（パッヘルベル）

◎ノクターン（ショパン）

ほか

「まいばらこども議会」を開催します

開かれた議会を推進する取り組みとして「まいばらこども議会」を開催します。

将来を担う子どもたちに、模擬議会の体験を通して市政や議会について理解を深めてもらうよい機会になればと思い企画しました。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。（傍聴席に限りがありますので、あらかじめ御了承ください。）



山東小学校6年生の皆さんが事前研修に来てくれました

日時：平成27年8月27日（木）

午後2時30分から

会場：米原市役所 山東庁舎 議場

★こども議員

米原市内の小学校6年生 20人
（選出は各学校で行います。）



総務教育常任委員会報告

委員長 澤井明美、副委員長 山本 克巳

委員 太田幸代、松崎淳、的場收治、滝本善之、前川明

旧息郷小学校の体育館の利用管理体制は

補正予算

一般会計

問 山東B & G海洋センターのプール改修を見送り、予算を減額するとの説明があつた。B & G財団から助成金を受けられるという判断で当初予算に計上したと思うが、助成金の交付が確定した時期に補正予算として計上するという判断もできたのではないか。この予算措置の考え方は。

答 助成金の申請時に27年度当初予算に計上するかどうかを記載することになっていましたので、事業実施の意気込みを示すため、当初予算に計上しました。

問 湖北広域行政事務センターに派遣する職員が一人減つたため、負担金を減額することだが、派遣する職員の人数は、長浜市との人口割ではなく、対等な立場で議論できるように派遣する必要があるのではないか。

答 現在、派遣職員4人のうち、1人は部長級、1人は課長級を派遣しています。派遣する人数の比率については、今後も協議したいと思っています。

問 「コミュニティセンター助成事業」の助成金を受けて、米原駅東部に発足した米原ステーションタウンに対して、集会所の建設補

助金を助成することとだが、集会所建設に対する事業採択の状況は。

答 集会所建設の助成は、滋賀県で3件という枠があり、そのうちの1件として採択を受けました。

問 「コミュニティ助成事業」で、備品の購入補助金の助成があるが、購入した備品の利用頻度などは調査するのか。

答 購入した備品の利用は、自治会にお任せしています。

問 消防団に配備する可搬式ポンプ積載車の購入費として、大きな額の予算を計上しているが、その理由は。

答 合併後においては、軽四輪トラックの車両と定めていましたが、伊吹地域では、合併前から全自治会に普通車のポンプ積載車が配備されていましたので、昨年度に普通車の車両を購入できるよう

改正して、甲津原班と甲賀班に配備するための補正予算を計上しました。

問 保育所施設等の建築物の検査とは、どのようなものか。

答 子ども・子育て支援法の施行に伴い、幼保連携型認定こども園の建築基準法の取り扱いが保育所施設の基準である500㎡以上に統一されました。いぶき認定こども園も3年に1回の検査対象施設となり、防火上問題がないかなどを重点に検査を受けることになりました。

条例改正

◎米原市税条例

◎体育施設条例

問 旧息郷小学校の体育館の利用について、事故等の心配もされるが、社会体育施設として有効活用するため、施設の管理方法をどのように考えているのか。

答 施設の不具合による事故の場合は、市が加入している総合賠償保険で対応します。今後は、現在利用されている状況も踏まえ、もう一度現行の仕組みをしっかりと研究して、28年度予算に向けて組み立てていきたいと思っています。

その他

◎辺地に係る公共的施設の整備計画の策定について

以上、4議案を審査した結果、総員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎意見書第1号
「平和安全法制」に関する関連法案の国会上程に反対する意見書案
賛成・反対討論のあと、採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決しました。



旧息郷小学校の体育館

健康福祉常任委員会報告

委員長 北村喜代隆、副委員長 藤田正雄

委員 今中力松、中川雅史、堀江一三、鏑田明、前川明

地域包括医療福祉センター完成間近

補正予算

一般会計

問 母子家庭等高度技能訓練促進費補助金の内容は。

答 当初一人分の予算を計上していましたが、追加申請が1件あったため、108万円を追加しました。看護師や准看護師などの資格取得のために支援します。

問 山東生涯学習センターに診療所を開設するための施設改修費は。

答 2千500万円で、電気設備の移設等の費用が高額です。

特別会計

◎介護保険事業

人事異動等による人件費の追加など

条例の廃止

◎こども療育センター条例

新設する地域包括医療福祉センター内に、ひまわり教室の機能を移すため設置条例を廃止

問 現在のひまわり教室の跡地利用は。

答 空き施設の利用については、関係所管課で協議中です。

条例改正

◎伊吹健康プラザ愛らんど条例

伊吹健康プラザ愛らんどを構成する施設に地域福祉支援センターを追加



地域包括医療福祉センター建設工事

◎地域包括ケアセンターいぶき条例等

問 指定管理者の収入から診断書や証明書発行手数料を見直すとは。

答 この手数料は、指定管理料とは別に利用者から得るもので、市との委託契約により徴収することになります。料金に変更はありません。

◎家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例

問 保育士の数を算定するとき、准看護師も一人に限り保育士とみなすことができるとする基準の改正

答 本市に該当する施設はあるのか。ありません。

その他

◎財産の貸付け

山東生涯学習センター1階の一部を平成37年3月31日まで診療所として塚田医院に無償で貸し出すもの

問 他の医師がこの地域に診療所を開設したらどうなるのか。

答 期間内でも、この施設は閉所となります。

◎財産の取得

地域包括医療福祉センターで使用する家具類の購入

問 入札で市内5者に指名した理由は。

答 市内の商工業振興の観点と、市内でも5者以上の指名願いが出ている場合は契約審査会で審査決定しています。

◎財産の取得

地域包括医療福祉センターで使用する医療器具類の購入

◎財産の取得

地域包括医療福祉センターで使用するリハビリ器具類の購入

◎工事請負契約の変更

地域包括医療福祉センター建築工事での工事費用の増額

問 業者の積算に対して市は審査しているのか。

答 業者からの見積りに対して市でも積算し、比較、審査しています。

問 地盤改良と言うが事前に調査しなかったのか。

答 3地点の地盤調査で問題はありませんでしたが、他の工事で駐車場用地を掘削中に軟弱な箇所が発見されました。

以上、慎重審査の結果、付託を受けたすべての議案は、討論もなく総員賛成で可決すべきものと決しました。

産業建設常任委員会報告

委員長 松宮信幸、副委員長 中川松雄

委員 吉田周一郎、音居友三、北村喜代信、

清水隆徳、竹中健一（欠席）

国の農業農村振興の補助金が減額

補正予算

一般会計

問 用地購入費として、954万8千円を計上しているが、米原駅東部土地区画整理事業の用地を買い戻す理由は、

答 J R貨物が、ターミナル駅のアクセス道路を計画していましたが、道路計画が変更になり、この用地が不要となりました。このため、土地開発基金で取得した土地を一般会計で買い戻すものです。

問 この土地は、評価額より低額で購入したのか。

答 協議の結果、当初の提示額より低額で購入しました。

補助金の額は。

答 当初は、2千600万円の予定でしたが、減額され、要望額に対して60・2%の1千566万3千円となりました。

問 予定している工事への影響は。

答 大清水の送水管の改修や、吉槻・春照などの水路改修を予定しています。要望額の補助金が受けられないため、当初の計画より各地区6割の範囲で工事を予定しています。

問 国の補助金を活用して、ハザードマップの作成とため池の耐震診断を計画した箇所は、何カ所あるのか。

答 19カ所でハザードマップを作成し、3カ所でハザードマップの作成とため池の耐震診断をあわせて実施する計画でした。

問 国の補助金の割当が減ったことにより、どこを実施するのか。

答 19カ所で計画して

いたハザードマップの作成については、補助金が受けられませんでした。補助金の減額により、実施する箇所は1カ所となり、多和田地先の鞍馬池のハザードマップ作成と耐震診断を実施します。

問 大幅に国の補助金が減額されているが、その対応は。

答 原則、国などの補助金を活用して事業を実施しています。引き続き、国などへ追加要望していきます。

問 鳥獣被害防止対策協議会への貸付金として、41万6千円を増額するが、具体的な事業は。

答 侵入防止柵の整備に対し、県の内示額が当初予算額より多くありました。約3kmの防止策を整備するため、協議会に必要な運転資金を貸し付けします。

問 丹生橋の架け替えは行わず、市道

枝折西出川線を改良するとのことだが、中学校からは今の橋を整備してほしいとの要望もあったと思う。通学路のルートが変わるなら、十分な説明と理解が必要だと思うが。

答 学校関係者や地域住民に対し、再度、市の計画を説明し、理解を求めて事業を進めます。

問 国道側に迂回することになれば、通学路として危険性が増すのではないか。

答 迂回路の歩道を新たに整備していきます。市道の狭隘区間の解消を図るため、建物の取り壊しを行い、歩道の整備と安全柵、街路灯を設置し、安全対策を図ります。

特別会計

◎水道事業会計

4月の人事異動および春照地区配水管布設替工事の国庫補助金の内示による補正

◎農業集落排水事業

◎流域関連公共下水道事業

◎米原駅東部土地区画整理事業

いずれも人事異動等による人件費の補正

その他

◎市道の路線認定

2路線を新たに認定（市場朝日小原野線、県道山東一色線と市道朝日橋本学校線を結ぶ道路）

（市道春照野畑線、市道春照1号線と市道野頭高番線を結ぶ道路）

問 路線認定の基準を公表している自治体もある。公表すべきではないか。

答 基準にあわせた形で、公表に向けて検討します。

採決の結果、付託議案はいずれも総員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。



清水 隆徳 議員

○平和安全法制の整備とは 海外で米国が起こす戦争に日本が巻き込まれること 戦争しない国が・戦争する国へ

平和安全法制整備 法案について問う

問 昨年7月1日の集団的自衛権の行使容認の閣議決定に際し「日本が戦争に巻き込まれるおそれは一層なくなっていく」との安倍総理の発言をどう思うか。

答 政府、内閣が憲法解釈の変更だけで、集団的自衛権を行使できるとすることは、憲法に基づく政治、立憲主義を否定し、憲法を有名無実化するものであり、到底許されないと考えます。

国会における安全保障法制の政府答弁は「海外での武力攻撃は許されない」としてきた日本の安全保障を大きく転換するものであり、これまでの見解を逸脱しており容認できるものではありません。



問 防衛大臣の「安全保障法制が整備されても、自衛隊のリスクは高まらない」の発言をどう思うか。

答 安全保障法制の整備は、自衛隊員の活動範囲が拡大すると想定され、リスクも高まるのではないかと議論されています。国会での誠実な議論と説明を求めたいと思います。

問 安倍総理は米国会で演説した際、日本の国会で法案が提出される前に「新しい安全保障法制を8月には成立させる」と表明した。市長はどう思うか。

答 米国連邦議会の上下両院合同会議での発言は、法案が国会に提出されていない段階での発言であり、これほど重要な法案にもかかわらず、法案の成立時期をなぜ米国議会で行及するのか、一人の国民として納得できません。

問 総理・防衛大臣ともに、集団的自衛権の行使容認は「日米同盟の強化により抑止力が高まるから安全だ」と言いたいのだと思う。そうだとすれば、テロの危険が増すことになると思うが、どうか。

答 今まで、日本が国際紛争に巻き込まれることはありませんでしたが、国際的なテロ行為が頻発し、近隣諸国との緊張関係が増している現状では、米国に依存して追従するだけの日米安全保障の枠組みを、今一度検証して見直す必要があると思います。

問 安倍総理は「積極的平和主義」という言葉をよく使われる。これは、先制攻撃のことだと解釈している。特定秘密保護法が加われば、偽りの情報が流され、紛争や戦争に巻き込まれることになると思うが、どうか。

答 安全保障法制の国会議論や、政府の発言で「平和」や「安全」という言葉が前に出ていますが、その背後には、裏腹のものがある

のではないかと思います。平和を唱えながら軍備を拡張してはならない、武力によらないで戦争をやめさせる国として、今後も平和憲法を堅持し、非核平和と非戦の立場で、世界の恒久平和に寄与する名譽ある地位を確保すべきだと思います。





中川 雅史 議員

○自転車で米原市を盛り上げよう

米原シティーセールス プランの交通対策

問 米原駅サイクルステーションの活用は。

答 滋賀県、米原市、長浜市等で構成する「鉄道を活かした湖北地域振興協議会」では、首都圏・中部圏・京阪神からの鉄道利用者が米原駅を起点に、自転車での琵琶湖一周体験ができるよう、米原駅にサイクルステーションの整備検討が進められています。

市においても、米原駅を降りてすぐに自転車で琵琶湖一周が楽しめる手軽さの提供、観光交流の人口増加を図りたいと考えています。

問 米原駅サイクルステーションの進捗状況、県との連携は。

答 「鉄道を活かした湖北地域振興協議会」

の幹事会で、県内で唯一の新幹線停車駅である米原駅の活用について確認しました。

次の同委員会で承認を受け、米原駅サイクルステーションの整備検討事業を実施していくこととなります。県も協議会の構成団体であり、引き続き連携して事業を推進します。



米原駅からサイクリング

「ビワイチ」の 推進計画

問 サイクリングで琵琶湖を一周する「ビワイチ」について、市の今後の計画は。

答 観光としての「ビワイチ」の推進は、これまで市内周遊ツアーの開催や広域観光事業の中で取り組んでいきます。自転車を活かした取り組みとして「鉄道を活かした湖北地域振



レンタサイクルでの琵琶湖一周

興協議会」で、駅からの利用促進を図るため、各駅で乗り捨てができるレンタサイクルを実施しています。

27年度は、北びわこエリアのレンタサイクルの施設情報と周辺の見どころや観光情報を紹介するサイクリングマップの作成を計画しています。

また、まいばら協働事業でも、市内の観光スポット、名所を巡る

サイクリングマップを市内団体の方々とともに作成し、市の魅力と観光情報の発信に努めます。

自転車の 交通安全対策

問 安心してサイクリングできる環境整備は。

答 都市部や通学路等で、新たに道路を整備する場合は、自転車や歩行者の交通安全を考慮し、道路整備とあわせて自転車歩行者道を整備しています。

サイクリングに適したコースは広域的に捉えなければならず、国道や県道については、国や県に対し必要な場所への自転車歩行者道の整備を要望しています。



松崎 淳 議員

○ “ホテルといえば米原” と認知されるためのマーケティング戦略

米原のホテルの独自性

問 長岡のゲンジボタルおよびその発生地は、全国で21件しかない特別天然記念物のうちのひとつ、息長ゲンジボタル発生地も天然記念物10カ所のうちのひとつ、伊吹山のヒメボタル等、ホテルは米原のシンボルである。市の認識は。

答 市民によって培われてきた生育環境を守りホテルと共存できる環境こそが重要で、未来に引き継ぐべき市特有のシンボルと認識しています。

天の川ほたるまつりの今後と課題

問 まつりの集客状況と、課題や対策は。

答 近年2万人前後で推移しており、後継者育成や新たな運営手法が課題です。米原らし

いまつりを市民とつくり出したいと考えます。

問 今後も継続していく意識と、地域との関係性に課題はないか。

答 交通対策と観光振興につながるビジネスモデル構築が必要と考え、地域と協調し、まつりを通してまちづくりを支援していきます。

問 地域振興の観点から地域やボランティアスタッフが「報われる」、お金が循環する仕組みが必要ではないか。

答 まちづくりの主役は市民であり、共に考えて決めていきます。

ほたるサミットの意義

問 サミット参加の意義と、参加自治体が減少する中で継続していくことをどう考えるか。

答 全国に情報発信できる機会で、災害時応援協定もあり意義深く

考えます。合併等で減少しましたが、日本一のホテルの里を目指す市町とともに自然と共生する豊かな暮らしを創造していきます。

ホテルを活用した今後のシティセールス戦略

問 公用車にホテルンキヤラを全面ラッピングして目立たせては。

答 提案を承ります。

問 戦略プラン「びわ湖の素」で他自治体と差別化できるのか。

答 伊吹山と雪が米原の印象と調査で判明し、琵琶湖に注ぐ水が全国に誇るホテルの生育環境や米原の歴史文化を育んできた、このことがびわ湖の素と自負するところであり、エピソードを十分説明し魅力を発信していきます。

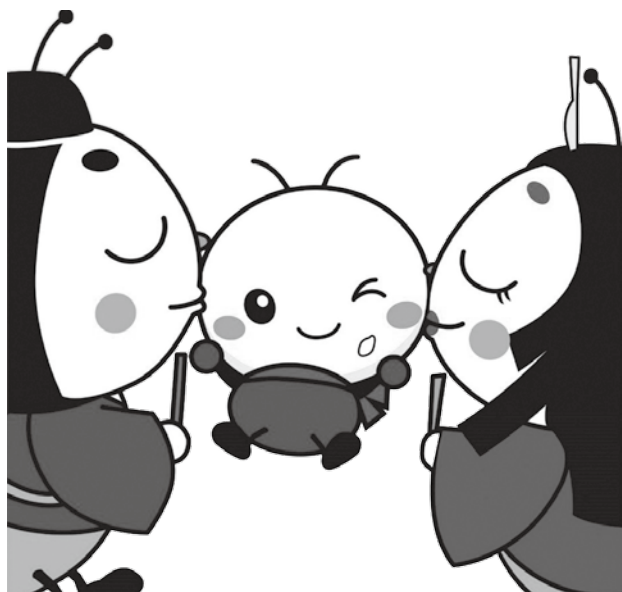
問 アートや民藝と

いった「ヒッピー」的な若者を呼ぶのが目的か。

答 米原ゆかりの民藝を現代に活かし、モノづくりで起業する若者を支援し、米原に対する意識、価値観に変化をもたらしていきます。

問 アートは作るのではなく、購入する。そのための経済基盤を整える雇用対策と、ホテルのいる住環境を宣伝するのが、必要なマーケティングである。経済効果のある起業支援や3セク等設置の考えは。

答 若者世代の仕事を創出することは、新しい人の流れをつくり将来人口を確保するため最も重要な課題です。9月に策定を目標とする米原地方創生総合戦略のアクションプラン推進の手法として検討していきます。



米原にとって“オンリーワン”なホテルでもっと差別化を



藤田 正雄 議員

○市民の苦情や意見に、市民目線での対応を

○憲法の立場に立つ生活保護行政を

住民の苦情に 真摯な対応を

問 不当要求に対する被害への対応策は。

答 市では、不当要求行為などを未然に防止するとともに、不当要求に対して統一的な対応方針を定め、明確な対応を講じるため、平成17年に「米原市不当要求行為等対策規程」を制定しています。

また、平成19年には、組織対応の具体例を記載した「不当要求行為等対応マニュアル」を警察署の助言もいただき作成済みです。

問 クレーマーと市民の意見・苦情の違いは。

答 クレーマーとされるのは、対応や判断について執拗であったり、特にその手法が言いがかりと受け取られるような申立てをする人の

ことを指すと考えています。



問 苦情の中に、平行線をたどっているケースがあるが、解決の接点は。第三者による対応はできないか。

答 特定の事案は、関係部署の協議経過を踏まえた対応経過があるため、具体的な発言は差し控えます。

第三者機関等の考え方は、相談内容によって関係部署が必要な相談窓口を紹介するなど、個別に対応していただいているところです。

裁判所以外の解決を図る第三者機関の設置

は、事案ごとに慎重に判断すべきと考えています。

問 職員の苦情に対する情報の共有と研修は。

答 まずは困っておられる相談者の立場に立って話をお聴きし、必要な部署への情報提供や共有を行い、組織での判断結果をもって対応しています。

市の独自研修として、市民の意見や思いの聴き取り方を学ぶ接遇研修のほか、不当要求対策研修やヘビークレーム対応研修などを継続して実施しています。



高校生のアルバイトは 自立に必要。生活実態 に配慮した生活保護を

問 26年度中に、生活保護費の不正受給とした件数は。

答 新たに徴収決定を行った件数は、全部で18件です。

問 徴収決定で、多いケースは何か。

答 主なものは、親族からの送金の無申告が発覚したケースが5件、稼働収入の無申告が発覚したものが5件あり、そのうち1件が高校生のアルバイトでした。

問 ケースワーカーの指導が不十分とは考えられないか。

答 ケース診断会議の活用等により、問題点の把握と検討を行い、組織的に対応しています。不正受給の未然防止対策の徹底についても、未申告や申告漏れ、虚偽の申告がないよう指導するとともに、証拠となる資料の添付により正確を期しています。こうしたことから、ケースワーカーの指導については十分対応していると考えています。



○7月開始のファミリー・サポート・センターについて問う

○市立こども公園の新設について問う



澤井 明美 議員

ファミリー・サポート・センター事業が開始

問 7月の事業開始に向けて、周知の方法は。

答 広報紙やウェブサイト、リーフレットの全戸配布でお知らせし、会員募集に関する説明を行っています。

問 利用料金について、無断でキャンセルした場合や、当日にキャンセルした場合などはどうなるのか。

答 無断のキャンセルは全額を、当日のキャンセルは30分の利用料金をお支払いいただくこととなります。

問 産前産後サポートとして家事支援を行うてはどうか。

答 この事業に家事援助は含まれていないこと、サポート会員の負担も大きくなるため、実施は考えていません。

ここが知りたい ・ 聞きたいQ&A 一般質問

問 預かりの年齢を2カ月からにしては。

答 今後、会員の能力向上や利用者の希望を見極めて検討します。

問 緊急に預かってほしい場合の対応は。

答 緊急的な援助の対応はサポート会員の都合等による判断になります。利用会員の急な申し出には、センターの業務時間内であれば、サポート会員の調整に努め、その後の活動を実施していただきます。

問 病児・病後児の預かりを行うてはどうか。

答 医療機関との連携が必要であるため、28年度から実施できるよう協議を行っています。

問 児童夜間養育事業を考えているか。

答 今後の研究課題とします。

問 利用者への助成を行うてはどうか。

答 一人のサポート会員に兄弟姉妹を預ける場合は、二人目の料金を半額としています。

一人親家庭等への助成は、まずは事業を軌道に乗せて考えたいと思います。

問 大型遊具を備えた市立こども公園を新設してはどうか。

答 現在のところ新設する考えはありませんが、時代の流れから必要な時期になってきていると思います。

市立こども公園を新設する考えは

答 地域支え合いセンター事業で行うため、この事業で実施する予定はありません。

問 電車やバスで行きやすい場所で、ミニSLを定期的に運行できないか。

答 経費やスペースの問題から考えていません。

問 未就学児が浮き輪等を利用できる水遊び場を新設してはどうか。

答 新設する計画はありませんが、幼稚園や認定こども園の夏季休業中のプール開放に向けて調整しています。



彦根市にある大型遊具



太田 幸代 議員

- JR米原駅下の東西通路の改善を
- 公の施設の使用料改定に矛盾はないか
- 国民健康保険制度の都道府県化、市への影響は

明るくて広い通路 への改善を

問 米原跨線橋下の通路は、旧米原町のと
きから改善要望の声が
上がっているが、現在
も一向に改善されてい
ない。この通路は学校
の通学路にも指定され
利用者からは「暗くて
怖い、気持ち悪い」と
の声を聞くが、もっと
通路全体を明るくでき
ないか。

答 明るさの確保につ
いては、改善に向けて
JRや関係機関と協議
を進めており、これま
でよりも長寿命で明る
さも向上するLED照
明への改善を計画的に
行います。

問 通路内には、水道
管が露出したまま放置
されている。以前、米
原駅東部土地区画整理
事業の進捗にあわせて、



跨線橋下の東西通路

水道管の配置換えを行
うと聞いているが、今
後の見込みは。

答 26年度に、米原駅
東部土地区画整理区域
内に新米原配水池が完
成し、現在、磯送水ポ
ンプ所の新設工事を進
めています。ポンプ所
の完成後に、地下通路
内の送水管と配水管の
布設替え工事を行い、

平成28年夏頃までに仮
設している露出管の撤
去を行う計画です。

ボランティアサークル への減免措置を

問 市の所有する施設
の使用料が、4月から
改定された。誰が利用
しても一律に料金を徴
収するということが、

市内のボランティア団
体からは強い不満の声
を聞いている。社協や
公民館の施設は、ボラ
ンティアサークル、地
域の文化や教養を高め
るためのサークルなど
の利用があるが、従来
どおり減免できないか。

答 市や社協の事業と
して施設を利用されて
いると理解すれば、ボ
ランティア団体自らが
負担すべきものではな
いという考え方もでき
ます。免除や減免と
いった対応ではなく、
実情に応じた適正な判
断を行うよう現場に指
示していきます。

誰もが払える国保税 への見直しを

問 国は、国民健康保
険の財政運営を、市町
村から都道府県へと移
行するよう進めている。

都道府県単位になると
保険料も同一となり、
これまで市町村の裁量
によって行われてきた
減免制度がなくなつて
しまうおそれがある。
今でも高い国保税がさ
らに高くないか。

答 低所得者に対する
軽減制度や、国の基準
に従った条例減免は継
続されると考えていま
す。

問 国保加入者の多く
は無職、年金受給者、
非正規労働者で、加入
者の保険料だけでは成
り立たないことが初め
からわかつているから
こそ公費負担がある。
保険税の引き下げが必
要ではないか。

答 各部署と連携し合
い、被保険者が健康で
生活できるよう、健康
増進など医療費の抑制
に努めます。



今中 力松 議員

ふもと
○麓の総合駐車場から三合目へにしでおおたにのシャトルバス
運行に向けて林道西出大谷線の調査測量が進む
○農地転用許可の事務・権限が国から
地方公共団体へ移譲

伊吹山の活性化を
実現する取り組み

問 伊吹山活性化計画と山麓道路計画策定の進捗状況は。

答 地元の上野自治会役員や伊吹山観光振興会員等で構成する伊吹山活性化計画策定委員会を立ち上げ、10回の委員会が開催されました。この協議結果を伊吹山活性化計画に反映し、今年10月を目途に計画を策定する予定です。

山麓道路計画は、4月20日開催の委員会で、麓から三合目に通じる林道西出大谷線の拡幅や安全施設等の整備を行い、麓の総合駐車場から三合目をマイクロバス程度のシャトルバスで運行すると決定されました。

現在は、拡幅や安全

施設の必要箇所を調査測量しています。

問 計画策定に向けて、市民全体を巻き込んだ組織の立ち上げは。

答 伊吹山の利活用には、地元のご理解とご協力が不可欠です。上野自治会が主体となつて実効性のある計画を策定中です。全国の山岳に精通した方からも指導や助言を受けて進めていきます。

問 大型の総合駐車場の整備してはどうか。

答 26年度に実施した上野自治会への住民アンケートでも駐車場の整備が必要との回答が多数あり、委員会で検討された結果、駐車場の候補地や規模について、おおむね意見が集約されました。市も必要性は認識し、整備方法などの検討が必要と考えています。

問 専任の管理者を置いて、登山道の計画的な修繕や維持管理をしてはどうか。

答 上野自治会や伊吹山もりびとの会等が主体となつて、保全活動を実施し、登山道の状況等も把握されています。この情報をもとに計画的に修繕等を行います。

問 残存するホテルやゴンドラ等の撤去は。

答 権利関係などの課題があり、上野自治会と連携し解決に向け取り組んでいきます。



農地転用の権限移譲
市の対応は

問 第5次地方分権一括法案において、農地転用許可の事務・権限を国から地方公共団体へ移譲することが閣議決定された。

地方創生のため、自主的・主体的なまちづくりが求められる今、4haを超える場合の大臣協議が残ったものの、全ての権限を都道府県および大臣の指定する市町村に移譲するとされたことは画期的だと思われる。

平成28年4月1日に権限移譲が実施されるが、米原市は農林水産大臣の指定する市町村に当たるとの対応は。
答 今後、国において、指定市町村の指定基準について検討されます。

市は、農地転用許可に当たり、法令の基準に従った適正な運用を徹底し、事務手続の迅速化を図り、真に守るべき農地を確保しつつ、地域の実情に応じたまちづくりを進めます。





堀江 一三 議員

- 子どもの貧困が深刻化、進学への支援は
- 市道の除草管理はどうか
- 消防団員OBの活用を

子どもたちに 進学の夢を

問 子どもの貧困率は2003年から一貫して上昇を続け、2012年度では16.3%になり、ほぼ6人に1人の割合になっている。

特に一人親家庭が経済的に困窮していると、調査結果もあり、大学等への進学を経済的な理由であきらめる家庭も少なくない。

経済的な援助のため、市の奨学金貸与条例を見直して奨学金の返還を免除してはどうか。

答 現在の制度では、奨学金を無利子で貸与しています。奨学金は、義務教育を終えた後に、個人の意志で進学を決定して活用いただくもので、奨学金を貸与する現行制度の見直しは考えていません。

交通安全のためにも 市道の除草管理を



市道藤川相撲庭線・伊吹地先

問 特に春から夏にかけては雑草が繁茂する。交通量の多い「市道藤川相撲庭線」の集落間では除草ができてい

ない部分があり、カーブの箇所では視野が狭くなり、危険なところもあるが、管理状況はどうか。

答 幹線市道の除草管理として、特に大型車の通行が多い市道藤川

相撲庭線では、草がよく伸びる7月から8月にかけて約11kmを業者委託により実施しています。

その他の幹線市道は、約8kmをシルバー人材センターに委託しています。また、国道や県道との交差部分は随時実施しています。

問 従来はそれぞれの地域で有志の方々が除草をされていたが、高齢化のために除草ができない状況にある。その対応はどうか。

答 河川の堤防が市道に認定されているところは、河川愛護活動事業を活用して、各自治会で行っていただいています。今後とも自治会に協力をお願いしたいと思っています。

昼間の火災時に、消防団員OBの活用は

問 平日の昼間に火災が発生したとき、勤務地などの事情で、消防団員の現場への到着が遅れることも考えられる。

このため、消防団員OBを補助員として登録し、その人材を活用してはどうかと思うが、市の考えは。

答 市では、消防団員OBを新たに補助員として登録し、団員を増やす考えはありませんが、消防団員OBや防災リーダーによる自主防災組織の設置を各自治会に働きかけ、防災力の強化を図りたいと考えています。

また、女性消防団の設置についても検討し、日中の地域の安全確保に努めます。

ここが知りたい

・ 聞きたいQ&A 一般質問

○スポーツコミュニティまいばらの 実現に向けて



的場 收治 議員

スポーツ推進計画 を進めるために

問 実施計画の今後の取り組みは。

答 子どもの体力低下やスポーツ離れ、成人のスポーツ実施率の低迷など、多くの課題があります。

実施計画において分析と評価を行い、市民の健康増進、スポーツの推進につなげます。

問 市役所内での組織を超えた連携体制が必要と考えるが。

答 関係各課が情報の共有に努めます。また、連携を強化し、施策の推進を図るため、スポーツ推進検討委員会を設置しています。

問 スポーツ振興の推進に重要な役割を担うスポーツ推進委員協議会の今後の方針は。



伊吹地区ふれあいスポーツフェスティバルの様子

答 多くのスポーツ事業で活躍されています。今後はさらに市の広報紙や伊吹山テレビなどを活用し、推進に取り組みます。

問 スポーツ少年団の団員が減少している。活動支援が必要であるが、市の取り組みは。

答 また、子どものスポーツ離れへの対応は。団の本部事業の中で、団員相互の交流を

図るとともに、団員募集のPRや各種の補助金などの支援を行っています。また、春照小学校で実施している10分間運動を全小学校で取り組む予定です。学校との連携を深め、スポーツ離れの解消に努めます。

問 スポーツ少年団の単位団に活動促進補助金が交付されている。支援策として金額を見直してはどうか。

答 課題を分析して検討します。

問 総合型地域スポーツクラブへの育成支援は。

答 スポーツ振興において「新しい公共」を担う組織です。連絡協議会での情報共有、課題解決に向けた協議検討を行います。

問 スポーツ推進体制の強化が必要だが。

答 市民総スポーツの推進、競技力の向上を図るには、発信拠点が必要です。現在、組織体制のあり方などを検討しています。

国体開催に向けて

問 平成36年に開催が内々定している滋賀国体に向けての方針は。

答 ホッケー競技を受け入れる方針です。施設などの課題が整えば会場地として決定されます。

問 生涯スポーツの世界大会である「関西ワールドマスタースゲームズ2021」を市でも開催すべきと考えるが。

答 国際大会の受け入れは非常に価値あるものと認識しています。国体とあわせて開催に向けて調整を進めます。

スポーツツーリズムは

問 スポーツツーリズムの推進は、地域の活性化や経済活動にもつながる。取り組みは。

答 市の良さを多くの人知ってもらうためにも、観光部局との連携を図り、地域のぎわいにつながる取り組みを進めていきます。



めざせ未来の国体選手



前川 明 議員

○子どものために学校グラウンド整備を

○防災無線整備、新たなシステムへ

グラウンド整備計画

問 学校グラウンドの整備計画は。

答 一部の学校では、排水機能の低下により

教育活動に支障を来している状況にあり、26年度に大東中学校のグラウンドを整備しました。今後は、子どもたちの安全で良好な学習環境を確保するため、国の補助金の採択状況を見極めながら、太原小学校、河南小学校、春照小学校の整備を予定しています。

問 学校グラウンドの活用状況は。

答 平日の放課後は、児童クラブや部活動に使用。休日は、スポーツ少年団による野球やサッカーなどに使用。さらに、グラウンドゴルフや地域スポーツなど社会体育施設として

も利用いただいています。

問 新しい工法で改修した大東中学校グラウンドの現場を見て、率直な感想は。

答 中学校では、体育の授業以外に、部活動など多様に使う時間が多く、排水機能の回復は生徒たちにとってもよいことだと思います。



改修された6月3日降雨後の大東中学校グラウンド。まだ補修が必要。

現場を見て、まだ少し補修するところもありますが、足を踏み入れたときに足が沈んでいないことは確認しました。

問 国体に向けた整備の取り組みは。

答 2巡目の滋賀国体は、9年後の開催となり、そのときの主力となる選手は、まさに今、

小・中学校に通う子どもたちです。小・中学校時代に、米原市の学校グラウンドで汗を流したことが国体の場でも生かされ、活躍できるようグラウンドの整備に努めます。

防災無線、戸別受信機なくなる

問 デジタル化への取り組み状況は。

答 26年度に防災情報伝達システム基本計画の策定業務を実施するとともに、市職員によるワーキング会議を組織し、市に適したシステムの検討を行いました。

その結果、平成26年4月から運用が開始された携帯電話網を利用したシステムでの整備を行うことが最適であると判断しました。

新たなシステム整備では、現在使用している屋外スピーカー設備の更新を行い、聞き取りやすい環境と情報伝達手段の改善を図ります。

メリットの一つとして、個人が所有しているスマートフォンなどを利用し、自宅に居なくても勤務先や外出先などのあらゆる場所で、家族それぞれが個々に情報を受信できるようになります。また、親族を米原市に残している地域に居住している方にも、情報が受信できるようになります。

問 戸別受信機は。

答 現在は、戸別受信機を全世帯に無償貸与していますが、今後は専用タブレットや普及が見込まれるスマートフォンを利用したシステム整備を行います。



社会福祉協議会との意見交換会（6月15日）



市庁舎整備に関する調査特別委員会視察・長浜市役所（4月24日）

次回の議会の予定

- ・議会運営委員会 8月24日
- ・議員全員協議会 8月26日

平成27年第3回定例会

- ・本会議【初日】開 会 9月 3日
- ・本会議【2日目】一般質問 9月 8日
- ・本会議【3日目】一般質問 9月 9日
- ・決算特別委員会 9月11日
- ・各常任委員会 9月14日
- ・健康福祉常任委員会 9月15日
- ・産業建設常任委員会 9月17日
- ・総務教育常任委員会 9月18日
- ・本会議【最終日】表 決 等 9月24日
- ・本会議【最終日】表 決 等 9月30日

※ 現在の予定ですので、変更になる場合があります。

4月	5月	6月
26日 議会運営委員会	20日 議会報告会（伊吹・近江）	29日 第2回定例会【初日】開会 議員全員協議会・議会広報特別委員会 議会報告会反省会
19日 議会報告会（米原・山東）	18日 議会報告会（米原・山東）	16日 定例会【最終日】本会議 表決等 市庁舎整備に関する調査特別委員会 議員全員協議会
13日 議会報告会（米原・山東）	12日 環境事業対策特別委員会 現地視察	15日 定例会【2日目】一般質問 定例会【3日目】一般質問
9日 議会報告会（米原・山東）	8日 議会報告会（米原・山東）	10日 健康福祉常任委員会 社会福祉協議会と健康福祉常任 委員会の意見交換会
8日 議会報告会（米原・山東）	28日 議会運営委員会	9日 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会 産業建設常任委員会
24日 議会報告会（米原・山東）	23日 議会報告会（米原・山東）	8日 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会 産業建設常任委員会
15日 議会報告会（米原・山東）	24日 市庁舎整備に関する調査特別委員会 （現地視察）	4日 定例会【2日目】一般質問 定例会【3日目】一般質問
13日 議会報告会（米原・山東）	23日 市庁舎整備に関する調査特別委員会 （現地視察）	3日 定例会【2日目】一般質問 定例会【3日目】一般質問
11日 議会報告会（米原・山東）	23日 市庁舎整備に関する調査特別委員会 （現地視察）	3日 定例会【2日目】一般質問 定例会【3日目】一般質問

議会の動き

編集後記

入江内湖を調べてみた。当時
小学4年生の孫の宿題だった
が、以来、琵琶湖干拓資料館に
興味をもった。

資料館は、土地改良区が管理
していて所管は農政課だ。所蔵
品は文化財としての管理が必要
だが、以前は教育委員会の手が
入っていた。また、パン
フレットは残部少数、しかも利
用案内には昭和の時代の路線バ
ス停留所が載っていた。

所蔵品には、国内はもちろん
海外での企画展に貸し出される
ほど価値あるものもある。

なんとかしなければと活動を
始めて4年半。学芸員による立
派なパンフレットが出来上がり、
展示の更新がかなった。

こんな議員活動もあるのであ
る。

（北村喜代隆）

議会広報特別委員会

委員長	松崎 淳
副委員長	太田 幸
委員	竹中 健一
委員	堀江 三
委員	北村 喜代隆
委員	前川 明

【掲載広告募集】

米原市議会では、財源確保の一環として、「議会だよりまいばら」に広告掲載することとしております。
広告掲載を希望される方は、米原市議会事務局（TEL 55-8111）までお問い合わせください。



環境に配慮し、再生紙および植物油インキを使用しています。